

スリランカへの井戸・トイレ寄贈プロジェクト

神奈川県東ロータリークラブ
国際奉仕委員長 加野亮一

kerc@beach.ocn.ne.jp

TEL 045-314-3900

【スリランカ訪問記】



1999年から当クラブとOWOP協会が協力して、区民まつりでのチャリティー活動の収益金でスリランカへ井戸支援を続けて来ました。2016年度に提供しました65本・66本目の井戸とトイレ2基・3基目を3月18日～23日にスリランカを訪問して確認して来ましたのでその報告です。

1日目、朝5時に家を出まして横浜5:42発の成田エクスプレスに乗りスリランカ航空8:20に搭乗手続を済ませ、成田11:15発に乗り9時間のフライトでコロンボに18:00に着きました。3.5時間の時差があります。気候が冬から夏に変わり、気温は30℃以上あり暑かったです。OWOP協会の現地のスタッフ、バンダーラさんが迎えに来ていました。バンダーラさんの車に乗りホテル迄6時間かけて移動しました。信号機はホテル迄一つもなく、途中で食事もしましたが、かなりハードな1日でした。考えてみれば1日起きていたことになります。ホテルに12:30（日本時間4:00）に着きチェックインを済ませて各自コテージの部屋に移動し、ようやく1日が終わりました。

スリランカの生水は飲めません。一度沸騰させたボイルドウォーターかミネラルウォーターなどを飲用します。私たちはスリランカでミネラルウォーターを飲用していましたが、矢野会長が何年前に来た時はミネラルウォーターのペットボトルはほとんど見なかったそうです。井戸は水質が悪く飲めるような感じではありません。ロータリーの6つの重点分野「水と衛生」の分野から、ただ井戸を掘るだけではなく持続可能な水と衛生、つまり、清潔で安全な水、トイレや手洗い場などの衛生設備を人々がずっと利用可能なものを提供できないか等々、中々難しいですが考えてみたいのです。

またロータリー財団の2017-18年度「地区補助金」プロジェクトの申請したところ認定頂き、補助金の交付が決定いたしました。今期はこの後押しをいただいてより有意義な国際奉仕活動を実施していこうと決意しています。